

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	(仮称)株式会社サンフレッシュ様	階数	地上5F
建設地	京田辺市河原御影10番、11番、12番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	102人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2021年11月9日
敷地面積	1,782 m <sup>2</sup>	作成者	01791-23 和田恒茂
建築面積	673 m <sup>2</sup>	確認日	2021年11月9日
延床面積	2,459 m <sup>2</sup>	確認者	01791-23 和田恒茂



<b>2-1 建築物の環境効率(BEEランク&amp;チャート)</b>	<b>2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)</b>	<b>2-3 大項目の評価(レーダーチャート)</b>
<p>BEE = 1.1 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 92%</p> <p>③上記+②以外の 92%</p> <p>④上記+ 92%</p> <p>46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

**2-4 中項目の評価(バーチャート)**

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.8**

<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア = 3.3</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア = 2.5</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア = 2.5</p>
---	---	--

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.3**

<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア = 4.2</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア = 2.7</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア = 2.9</p>
--	---	--

<b>3 設計上の配慮事項</b>		
<p><b>総合</b></p> <p>南側隣地沿いに緑地帯を設け、北側には十分な駐車・駐輪スペースを確保するなど、周辺環境への影響を抑えるよう努めています。</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>内装材はF☆☆☆☆製品を使用しました。 住戸内の通音のため、サッシの選定に配慮しました。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>各住戸でインターネット利用可能とした。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>隣地南側に極力緑地を設ける等、周辺環境への配慮に重点を置いています。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>照明器具はLEDを中心とした高効率な器具を採用し、省エネルギー化を図った。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>便器を節水型とし、水資源の保護に配慮しています。また、節水栓を積極的に採用しました。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>バルコニー側に緑地帯を設け、また、駐車場も緑化ブロックを使用する等、良好な景観を形成しています。</p>
<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>出来るだけ駐輪台数を多く配置出来るよう、駐輪場スペースの充実を図りました。</p>		

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される